

# 鹿児島大学大学院共同獣医学研究科（平成30年4月設置）



## 設置の趣旨

- 世界先端的な獣医学研究の推進と生命・研究への高い倫理観を備えた先導的獣医学教育・研究者の養成。
- 地域・国際社会の獣医学的課題解決に求められる高度な知識・技能・実務経験を備えた獣医療人及び獣医学専門家の養成。

共同獣医学研究科（入学定員：山口大学6名、鹿児島大学6名、専任教員：山口大学26名、鹿児島大学31名）

### 【養成する人材像】

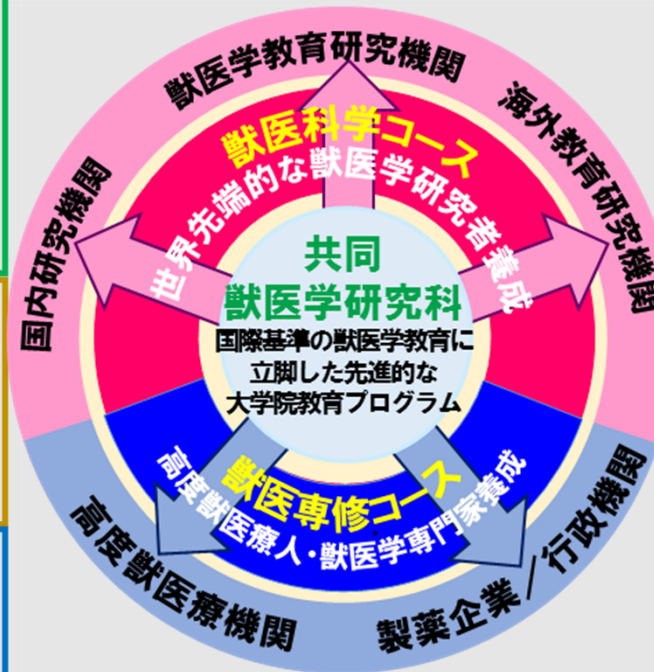
- 動物生命科学研究を実践し、諸課題を解決するための探究心と独創性を備えた獣医学研究者及び高度獣医学専門家。
- 応用獣医学分野における先端的知識と技能を備えた獣医学研究者及び高度獣医学専門家。
- 高度動物医療の先端的知識と技術を備えた臨床獣医学研究者及び指導医の人材となる獣医療人。

### 【取得可能な資格】

- 獣医専修コースの修了者
  - 実験動物医学専門医の受験資格（獣医師のみ）
  - 日本獣医病理学専門家協会会員の受験資格
  - 日本小動物外科専門医受験のためのレジデントプログラム（3年から6年）の受講資格

### 【主な就職先】

- 国内外の大学・研究機関
- 行政機関（厚労省、農水省、自治体等）
- 製薬企業・高度獣医療機関



### 【新研究科の特色】

- 社会ニーズに対応した教育コース。
  - 獣医科学コース  
基礎獣医学／応用獣医学／臨床獣医学研究者養成
  - 獣医専修コース  
実験動物医学専門医／病理学専門家／臨床専修医養成
- 研究フィールドの重点化と共有、及び相互補完による教育研究の質向上。
  - ラボワークによる実験技術、クリニカルワークとフィールドワークによる高度な診断治療技術を指導。
  - 遠隔授業システムによる教育の実質化と、WebマルチメディアLMSによる学習指導・評価。
- 欧米国際認証基準に対応する卒業後教育プログラムの提供。
  - 英語教育の充実／留学生受入れ促進（留学生への全授業を英語で実施）。

## 全学的な学内資源の再配分・ガバナンス改革

- 学長主導の人的・財政的支援により世界先端的な獣医学教育研究（欧米水準の獣医学教育認証取得）を推進。
- 地域から世界へ貢献する総合大学としての機能強化に向けた組織改革。
- 共同学部・研究科の運営を司る、2大学学長を含む共同教育課程構成法人間会議を設置。
- 外部のステークホルダーを含む獣医学教育の質保証に関する協議会を設置。